

人口増加が語る 大村市の魅力とまちづくり

大村市長 園田 裕史



明けましておめでとうございます。

令和8年の新春を迎えるにあたり、誠に

がとうございます。

昨年を振り返りますと、4月に県内初となる「フォレストアドベンチャー・おおむら長崎」がオープンしました。新たなアウトドアアクティビティの誕生は、本市の自然を活かした賑わい創出の非常に重要な観光拠点になると考えています。また、ボートレーントアードにおいては、売上額が5年連続の日本一を達成しました。引き続き、6年連続の日本一を目指して取り組んでまいります。本市は県内で唯一、50年以上にわたり人口増加を続け、まもなく10万人の大台に届くとしています。この背景には、子育て支援や教育環境等の充実に向けた地道な施策の

積み重ねがあります。これに加え、本市では市民向けポータルアプリ「おむすび。」を活用し、地域内助け合いサービス、デジタル地域通貨「ゆでび」の導入など多様な生活支援機能を開設しています。

一方、老朽化が進む本庁舎

については、令和10年度以降

の供用開始を目指して新庁舎

の整備を進めており、誰もが

安心して利用できる市役所を

目指してまいります。

「一次産業の再生」「暮らし選ばれる平戸づくりへ」

平戸市長 松尾 有嗣



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、令和八年の新春をお健や

れもひとえに関係各位の多大

に賜り厚くお礼申し上げます。

松浦市は平成十八年一月に

旧松浦市、福島町、鷹島町の

一市二町の合併による誕生

し、本年一月一日をもって市

政施行二十周年の節目の年を

迎えることとなりました。こ

れもひとえに関係各位の多大